

ふっさ市議会だより

No.241 令和7年4月25日 発行／福生市議会

〒197-8501 福生市本町5番地
☎042(551)1511(代表)
☎042(551)1523(直通)



X (Twitter)



Facebook

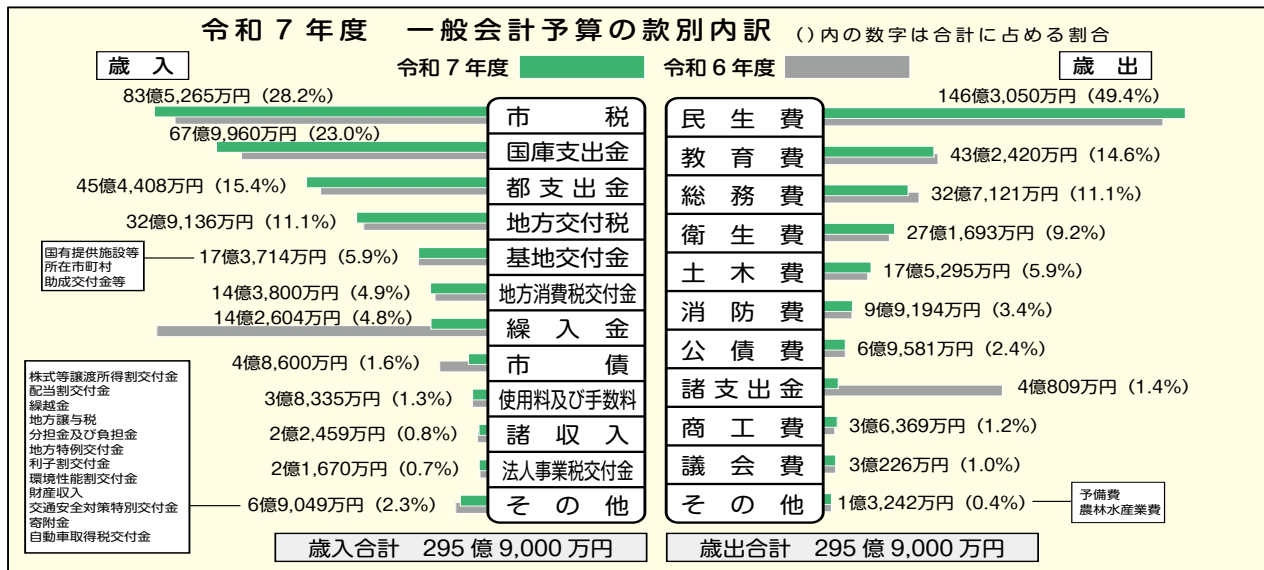


▲ふっさ桜まつりのメイン会場となった多摩川中央公園の桜

令和7年
第1回定例会
3月4日～3月28日

令和7年度予算を可決

一般会計及び各特別会計
433億7946万8千円



令和7年第1回定例会

令和7年第1回定例会は、3月4日から3月28日まで会期25日間で開催されました。

新年度へ向けて市長から施政方針、教育長から教育方針が述べられた後、15名の議員による一般質問が行われました。

また、条例の一部改正、補正予算、各会計予算など市長提出議案20件、委員会提出議案3件が審議されました。

市民等から提出のあった陳情3件は、不採択となりました。

15日	▼4月	議会運営委員会
28日		議会運営委員会
26日		議会運営委員会
24日		議会運営委員会
21日		議会運営委員会
18日		議会運営委員会
17日		議会運営委員会
14日		議会運営委員会
13日		議会運営委員会
12日		議会運営委員会
11日		議会運営委員会
7日		議会運営委員会
6日		議会運営委員会
5日		議会運営委員会
4日		議会運営委員会
▼3月		議会運営委員会
25日	▼2月	議会運営委員会

◆会議の
開催状況と
審議日程◆

◆ 主 な 内 容 ◆

- ◆一般質問（要旨）…… 2～4面
- ◆予算審査から…… 5面
- ◆議案の審議結果…… 6面
- ◆可決等された案件…… 6面
- ◆委員会の審査…… 7～8面
- ◆特別委員会活動…… 8面

一般質問（要旨）「市政のここを問う」

今定例会では、15名の議員が市政全般にわたり一般質問を行いました。要旨は1～2問とし掲載しました。

会議録は5月下旬に市役所情報コーナー及び図書館に配置します。

また、福生市ホームページにも掲載しますので、ぜひご覧ください。

なお、一般質問通告一覧は、福生市議会ホームページに掲載しています。

※録画映像を議員名左横のQRコードよりご覧いただけます。



◀福生市議会HP
(通告一覧へリンクします)



◀議員BOOK
(各議員の過去の一般質問や
会議録をご覧いただけます)

福生市教育ビジョン2025-2029について



正和会
佐藤 弘治 議員



質問 夢のある市立学校の実現に向けた検討という観点から令和6年度と令和7年度の取り組みを伺う。

教育長 令和6年度は、「ふっさの学校 夢・未来プロジェクト」（福生市立学校再編基本構想、ランドデザイン作成を目的に企画財政部と教育部職員で構成した庁内のプ

ロジェクトチーム）を全15回開催し、本市が目指す夢のある小・中学校の教育課程や学校施設について研究、協議を深め、東京都の先進的な学校4校を視察した。令和7年度は、令和6年度の検討結果を踏まえ、新たに「福生市立学校在り方検討委員会」を設置する。委員には学校教育、

学校施設の設計、建築に関する有識者、市立学校の代表校長やPTA関係者、町会長協議会の代表者、コミュニティ・スクール委員会委員などを予定している。この委員会を通じ、夢のある市立学校の実現のため、福生市立学校再編基本構想・基本計画の策定に向けて取り組んでいく。



▲先進的な学校の視察の様子

返礼品付きふるさと納税について



正和会
山崎 貴裕 議員



質問 令和7年度から福生市でも返礼品付きふるさと納税が実施されるが、その効果やどのような返礼品を想定しているのか、また、寄附金の活用方法についても伺う。

市長 期待される効果は、市の魅力の向上、地域内経済の活性化、税外収入の確保の3つで、返礼品は、

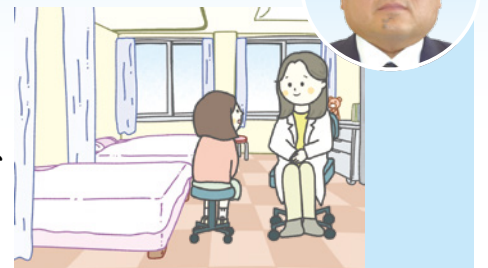
市の特産品の地酒やハム、各種観光施設やイベントでの体験などを考えている。寄附金は、ふるさと人づくりまちづくり基金に積み立てた後、寄附者の意向に沿う事業に活用する。

配慮を要する児童・生徒への支援について

質問 学校における児童・生徒の

居場所についての現状を伺う。

教育長 児童・生徒のため、所属する学級ではない場所で学習ができるよう校内別室の設置を小・中学校全校で実施している。校内別室では、学習意欲を引き出すことや悩みや不安を聴くなど、教員や支援員が丁寧な対応を行っている。



福生市の下水道管理について



正和会
森田 哲哉 議員



質問 福生市内の下水道管の老朽化対策と道路陥没を防ぐための点検や補修の実施状況を伺う。

市長 福生市下水道ストックマネジメント計画等に基づき、腐食等のリスクが高い污水管渠から点検、調査、改築更新を進め、下水道施設の維持管理を実施。また、道路パトロ

ールや道路通報システムを活用し損傷及び異常箇所の把握に努め、路面下空洞調査を5年ごとに実施し、必要に応じて補修工事を実施し、重大事故の未然防止に努めている。

サイバー攻撃の対応について

質問 サイバー攻撃に対する市の具体的なセキュリティ対策を伺う。

市長 庁内で利用している業務システムをインターネット環境から分離することにより、サイバー攻撃からのリスク低減を図っている。この他、職員研修の実施、インターネット環境の常時監視、メールの無害化やウェブサイトのフィルタリングを行う等の対策を実施している。



▲路面下空洞調査の様子

障害者の就労支援等の取組について



正和会
仲間 正司 議員



質問 福生市における障害者の就労支援についての取り組みを伺う。

市長 市では、障害者の方の就労支援を社会福祉協議会へ委託し、福生市障害者自立生活支援センターすてっぷにて、市内在住の15歳以上で就労意欲のある身体・知的・精神障害のある方及びご家族を対象に相談

支援事業や就労支援事業を行っている。相談支援事業では、就労に関する相談、福祉サービスの利用等や日常生活に関する相談支援を実施し、就労支援事業では、職業準備支援のほか、ハローワークや企業面接等への同行、就労後の職場定着など、障害者の方が安心して働き続けるため

の取り組みを実施している。また、福生市地域自立支援協議会の「しごと部会」では、市及び各事業所が連携し、障害者の方の就労の実現や生活の充実につながるよう検討を進めている。今後も、就労を希望する障害者の方が1人でも多く就職できるよう支援を継続していく。



上下水道の管理等について



公明党
原田 剛 議員



質問 埼玉県八潮市での事故を受け、下水道管の点検状況や緊急点検などの考え方について伺う。

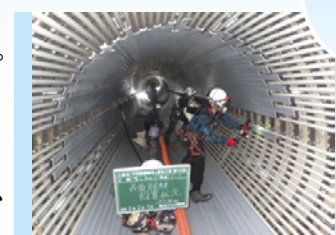
市長 福生市下水道ストックマネジメント計画等に基づき、リスクの高い污水管渠から点検等を実施。ストックマネジメント事業では、下水道施設をリスク評価により優先順位

を付けたうえ、市内を7つのエリアに分け、1年ごとに①点検②調査③修繕・改築計画④実施設計⑤修繕・改築工事の5工程を各エリアで繰り返し実施。このほか管渠の定期清掃等で状況把握に努めているため、事故に起因する緊急点検の予定はない。

安全・安心の確保について

質問 都で防犯カメラ等購入費助成が開始されるが本市の実施予定は。

市長 住宅用防犯カメラなどの防犯機器購入・設置にかかる費用助成を令和7年5月から実施予定。都の補助上限額に市が1万円を上乗せし、3万円を上限に助成する。本事業の予算は、今定例会に上程している。



▲下水管渠内作業の様子

こども家庭センターについて



正和会
小林 貢 議員



質問 設置から約1年が経過したが、効果や成果、課題を伺う。

市長 これまで物理的に離れていた各機能が保健センター2階に統合され、妊娠の届出から出産、子どもに関する相談まで、切れ目のない一体的支援が可能となった。今後は、児童福祉部門が使用している家庭児

童相談システムを母子保健部門にも導入予定。相談記録の一括管理や集計が可能となり、業務の改善と効率化が図れると考えている。

第60回福生ほたる祭について

質問 今年は節目の60回となるが、昨年からの改善点を伺う。

市長 運営を市に移管した昨年は、

幾つかの課題が浮き彫りとなった。これを受け、①子ども向け縁日コーナーの設置②イベント会場を福生第三中学校体育館に移し、同校と第七小学校の校庭に駐車場を設置③混雑緩和対策としてホタル観賞の場の増設などを実施する。より魅力的なイベントとなるよう準備を進めたい。



▲こども家庭センターの外観

地域防災に関する取組について



生活者ネットワーク
三原 智子 議員



質問 地域防災は、災害時に地域住民がお互いに助け合う共助が重要で、消防団とともに中心となるのが自主防災組織だと考えるが、地域住民にあまり認識されていないのではとの意見もある。自主防災組織の体制や活動等の現状と、市民の認知度についてどう考えているか伺う。

市長 阪神・淡路大震災や東日本大震災などでも、地域の方々の自主的な活動が被災者支援に寄与しており、本市でも自主防災組織を地域防災計画に位置づけている。町会・自治会を中心に地域住民全員が防災活動に取り組む組織として、自主防災組織運営費補助金を交付するなど、

活動への支援を実施。市政世論調査では、約6割の方が「地域の共助」が防災対策や災害発生時に最も望ましいと回答しているが、地域の方々に自主防災の意識をより浸透させるためにも、総合防災訓練参加の呼びかけや、動画の配信などで認知度の向上を図りたい。



多摩川について学ぶ学校教育について



正和会
小澤 芳輝 議員



質問 本市は古くから多摩川との深いつながりがある。市内の小・中学校において、多摩川に関連した学習はどのように行われているか。また、その授業の狙いは何か。

教育長 市内の小・中学校では、多摩川に関連した学習を環境教育の一環として教育課程に位置づけ、主

に生活科や総合的な学習の時間の中で実施している。例えば、福生第四小学校では、第3学年で多摩川流域における生き物の観察などの体験的活動を行い、生態系を探究する学習を実施している。福生第三中学校では、第1学年の総合的な学習で多摩川の自然や歴史など、生徒の興味・

関心に応じた探究的な学習を行っている。福生第一中学校の特別支援学級では、ヤマメの卵をふ化させ、多摩川に放流する活動に取り組んでいる。これらの学習を通じ、多摩川の自然環境や歴史への理解を深めるとともに、多摩川との関わりを具体的に考え、表現する力を育んでいる。



▲市内を流れる多摩川

下水道管の維持管理における課題等について



立憲民主党
市川 佳樹 議員



質問 本市における下水道管の維持管理の課題等について伺う。

市長 老朽化対策や維持管理費の増大等、下水道事業を取り巻く環境が今後厳しさを増すと考えられるため、市は平成30年度に福生市下水道ストックマネジメント計画を策定。点検、調査、改築更新などを、計画

的かつ効率的に管理し、費用の平準化と施設の長寿命化を図っている。しかし、今後更新需要の増大など更なる課題も考えられ、経営の現状と課題の分析などを行いながら、効率的で安定的な事業運営に努めていく。

質問 万が一、本市で八潮市のような事故が起きた場合、被害者への

補償等はどのように行われるのか。

都市建設部長 基本的には、道路管理者や下水道事業者である市に国家賠償法等に基づく賠償責任が問われ、被害者からは治療費や慰謝料等の損害賠償請求が考えられるが、市では道路や下水道の賠償責任保険に加入し、万が一の事故に備えている。



◀マンホール定期点検の様子

観光振興計画の策定について



公明党
堀 雄一朗 議員



質問 観光振興計画を策定することだが、所見を伺う。

市長 これまでも様々な角度から魅力を発信し、観光施策を積極的に推進してきた。昨年ユネスコの無形文化遺産に登録された日本の伝統的酒造りは、本市の主要な産業のひとつであり、今後は酒蔵を基軸とした

インバウンドも期待できることから、受け入れ環境の整備等も含め、観光施策を体系的に推進することが福生市観光振興計画策定の最大の狙い。令和7年度から約2年間で方向性を具体的に決定する予定である。

地域コミュニティについて

質問 町会・自治会の活力低下が

見られる。加入推進の条例制定などを検討してはどうか。所見を伺う。

市長 町会・自治会は、社会構造の変化や担い手不足などが深刻化し、活動の維持が厳しい状況にある。条例については、先進自治体の成果や課題を把握するとともに、他市の動向を注視したい。



▲現在発行している観光マップ

子育ておむつ無料定期便について



日本維新の会
西尾 壽々斗 議員



質問 現行の子育て支援施策と連携させておむつ無料定期便の導入を検討する考えはあるか。

市長 子育ておむつの無料定期便については子育てに関する相談を受ける機会をつくる手法の1つであると認識しているが、まずは専門職による現在の対応をしっかりと継続す

ることが重要と考えるため、現時点では導入を検討する考えはない。

リカレント教育の推進について

質問 社会人の学び直しやスキルアップを支援する取り組みなど、リカレント教育の推進の現状は。

市長 リカレント教育の推進に資する取り組みとして、S&Dたまぐ

ー福生中央図書館では、「ビジネス・しごと支援」コーナーを設けるとともに、図書館ホームページで資格取得や就職に関する書籍、経営や業界情報などの仕事に役立つ情報を提供するなど、市民一人ひとりの可能性をひろげ、地域全体の活性化につなげている。



福祉バスから市内循環バスへの転換について



日本共産党
伊藤 広美 議員



質問 福祉バスの運行は祝日を除く月曜日から土曜日までに限られるが、日曜日・祝日も運行できる市内循環バスへの転換を検討すべきでは。

市長 福祉バスは、いわゆる交通弱者が市内の福祉施設、病院等を利用する際の利便性の向上を図ることが目的のため、一般的にそれらの施設が休業している日曜日や祝日は運行を実施する予定はなく、市内循環バスの導入は考えていない。

質問 福祉バスの今後の財源は。

企画財政部長 福祉バス事業では、国から米軍の再編に協力する自治体に交付される再編交付金を財源として福生市再編交付金事業基金を設置

し、使途を福祉バスに限定し活用している。令和10年度には、再編交付金の全ての基金の活用が終了する見込みである。新しい財源は、特定防衛施設周辺整備調整交付金の条件に合致すれば活用自体は可能と考えられるが、具体的な活用の可否については、防衛省との調整が必要になる。



米軍横田基地について



日本共産党
市毛 雅大 議員



質問 PFOSなどを含む水の漏出について、昨年12月議会でも市内の安全性や立入検査について答弁があったが、その後の市の対応や経過等の詳細を伺う。

市長 12月20日に、国・都・基地周辺5市1町で横田基地への立ち入りを実施し、現地を視察するとともに、米側からの説明を受けた。立ち入り時に行った質問に対する回答があったが、恒久的な再発防止策等が示されず、横田基地に関する東京都と周辺市町連絡協議会から米軍に対し、具体的な再発防止策と残存水の処分時期等について早急な情報提供を要請。国へは、立ち入りや、サン

プリングの実施について米側と調整すること等を要請。1月22日と23日に実施した総合要請の際には、周辺住民の不安を払拭するためにこれまで協議会が行ってきた一連の要請内容について早急に対応し情報提供するよう、防衛省及び米軍に対し改めて直接申し入れをした。

市ホームページで公開しているPFOS等漏出に関する情報



▲市ホームページで公開しているPFOS等漏出に関する情報

重層的支援体制整備事業について



公明党
川崎 善友 議員



質問 本市の重層的支援体制整備事業の準備状況と今後の事業展開は。

市長 本事業は、地域共生社会の実現を目指し、包括的相談支援、参加支援など5つの事業を一体的に実施するもので、中心的な役割を担う専門職で構成する地域福祉コーディネーターを社会福祉課相談窓口と社会福祉協議会に合計3名配置し、試行実施中。令和7年度の本格実施に伴い、重層的支援会議等を設置して継続的支援や伴走支援を行う。

「平和のつどい」について

質問 太平洋戦争終結から80年を迎え戦争を体験した世代が減っていく中、どのように平和の大切さを訴えていくか、市の所見を伺う。

市長 戦争体験世代の高齢化に伴い、戦争体験の継承が課題。より幅広い世代に平和への意識醸成を図るため、令和7年度は市民による講演に替え、新しい企画での事業を実施。より幅広い世代に向けて、平和意識の醸成に努めていく。



▲昨年度の平和のつどいの様子

デジタル・シティズンシップ教育について



公明党
青木 健 議員



質問 児童・生徒へのデジタル・シティズンシップ教育の重要性が一層高まっていると考えるが、本市教育委員会の取り組みを伺う。

教育長 デジタル・シティズンシップ教育とは、優れたデジタル市民になるために必要な能力を身につけることを目的とした教育のこととされている。これまで福生市教育委員会では、日常的にタブレット端末を使う児童・生徒が自律的に利用をコントロールできるようにすることが重要であると捉え、情報モラルを含む情報活用能力を伸ばす取り組みを行っている。例えば、東京都教育委員会が作成した「GIGAワークブ

ックとうきょう」を活用し、一方的に知識や対処方法を教え込むのではなく、児童・生徒が自ら考える活動を意図的に取り入れる工夫をしている。今後とも児童・生徒がデジタルの力を生かし、問題を解決し、自らの人生を切り拓く資質、能力の育成を目指して学校を指導していく。



SNS

で市議会の情報を発信しています！

X (旧ツイッター)

Facebook

写真等も掲載しながら、見やすく、わかりやすい議会情報をお届けしています。

ご利用ください 市議会インターネット中継



- ◆配信内容 本会議のライブ映像と録画映像
- ◆利用方法 福生市公式ホームページ「福生市議会」よりアクセス

パソコンのほか、スマートフォン、タブレット端末でも視聴できます。

議員の一般質問や市長の答弁の様子がみられ、より身近に議会を感じいただけます。ぜひご利用ください。



福生市議会
インターネット
中継

「声の市議会だより」をお届けしています

音訳ボランティア「福生いとでんわ」により、市議会だよりの音訳をデジタイズ方式のCDにして、視覚障害者(1・2級)の方にお届けしています。ご家族や知り合いで、希望される方がいらっしゃいましたら、ご連絡ください。

議会事務局 ☎042-551-1523

専用の再生機が必要となりますが、利用対象者は日常生活用具として給付を受けられます。

ケーブルテレビによる議会中継

多摩ケーブルネットワークでも本会議の生中継を放映します。ぜひご覧ください。

令和7年度予算の概要

一般会計予算を4日間集中審査

地方公会計制度に基づき、事業の内容や財源を盛り込んだ実施計画書等により、令和7年度一般会計予算を審査しました。

今定例会に提出された一般会計予算295億9千万円を、予算審査特別委員会で4日間にわたり慎重に審査しました。

また、特別会計予算137億8946万円が提出され、市民厚生委員会でも審査しました。

地方公営企業法の財務適用による企業会計方式の下水道事業会計予算は、建設環境委員会で審査しました。通算6日間にわたる審査の結果、それぞれ原案のとおり可決されました。

一般会計予算の審査から

令和7年度予算の特徴点について

問 基本的な考え方、特徴的な内容について伺う。

答 人件費の上昇や物価高騰など今後の財政需要が不透明な中での予算編成となった。新規・改善事業の精査に加え、既存事業の見直しや経常経費の削減に取り組む一方で、物価高騰対策としてのキャッシュレス決済ポイント還元事業や、学びの多様な学校の移設分校化、施設保全・改修計画に基づく公共施設の適正管理に加え、DXの推進などの経費を盛り込んだ。

ウクライナ避難民生活支援給付事業について

問 事業費増額の理由を伺う。

なる自主防災組織の活性化支援を目的に均等割を増額した。本市の取り組みとして、令和6年度は、市総合防災訓練で福生第四小学校をメイン会場として位置づけ、児童及び地域にお住まいの方にも参加いただいた。訓練の様子は市公式YouTubeサイト福生市メディアラボにて公開している。

戸籍業務について

問 戸籍への振り仮名記載制度のスケジュール等を伺う。

答 令和7年5月26日から制度が開始。本籍地が福生市の方に對し、同日以降に、戸籍に記載される予定の振り仮名を通知するはがきを送付。通知を受け取った方は、振り仮名に誤りがあった場合には、1年以内に届出を行う必要がある。届出は、市区町村窓口、郵送、マイナンバーを活用したオンラインにて手続きが可能。振り仮名は、令和8年度以降に戸籍に記載する予定。

自主防災組織運営費補助金について

問 増額の目的と本市の取り組みについて伺う。

答 昨今、全国的に地域コミュニティの希薄化が危惧されており、令和7年度予算において、さら

相当のポイントを上限に付与する。対象者は市内外を問わず、いずれかのアプリの利用者で、対象店舗は、大型店やチェーン店等を除く、いずれかの決済サービスを導入している中小企業、個人事業主等を対象とする予定。

資源売却収入について

問 6年度から大幅に増加した理由を伺う。

答 主に新聞、雑誌、紙、段ボール、古布といった可燃系資源の単価が上昇していることにより増額した。新聞は令和5年度上半期が1キログラム当たり18円だったが、6年度上半期は最大で25円、古布は令和5年度上半期が1キログラム当たり最大で25円だったが、6年度上半期では最大で45円となっている。

新型コロナウイルスワクチン接種事業について

問 市民の自己負担額ほどの程度になるか。

答 国等からの財源は、定期接種となる初年度のみとされていたため、令和7年度においては定期接種に係る国の交付税措置があるものの、国及び東京都からの助成金、補助金はないことから、令和6年度は2500円だった自己負担額が7500円程度になる見込み。

キャッシュレス決済のポイント還元事業について

問 事業の内容を伺う。

答 Pay Pay、au PAY、d払いの各決済アプリを活用し、令和7年6月2日から22日までの3週間にわたり実施。ポイント還元率は30%で、期間中1人当たり3千円

妊婦支援給付金について

問 事業概要を伺う。

答 妊婦の経済的負担の軽減等を目的とした給付金で、支給認定された妊婦を対象に妊娠中に1回目の給付として5万円を、2回目は胎児1人につき5万円を支給するもの。2回目の給付については、令和7年4月1日以降に出産した方が対象となる。令和7年度当初予算では1回目の給付5万円×年間360件分の1800万円、2回目の給付を5万円×年間360件分の1800万円、合計3600万円を計上している。

富士見通り線整備事業について

問 進捗状況と事業委託内容を伺う。

答 用地取得について約99%と大部分が確保できたことから、実施設計委託料1151万7千円については、実際に道路工事を施工するための道路詳細設計、地上機器の位置を含む電線共同溝詳細設計など道路の設計図面の修正を行い、工事に必要な数量計算や工事費用概算額の算定を行うものである。

公共施設予約システムについて

問 キャッシュレス決済導入にあたっての詳細や予約等の手順を伺う。

答 公共施設予約システムの更新に合わせて、キャッシュレス決済を導入する。予約から支払いまでをスマートフォン等で完結できるように、窓口に向く必要がなくなることから利用者の利便性の向上が図られる。予約等の手順については、窓口における現在の運用と整合を図る必要があるため、担当間で引き続き連携し、運用開始に向けて調整していく。

幼保小中連携事業について

問 令和7年度の取り組みと高校との連携を伺う。

答 4月に市内の全小学校で幼稚園・保育園の保育者が小学1年生クラスを参観する。8月9日には小学校教員が5歳児クラスを参観するほか、各小学校と各園で児童と園児の交流活動を実施する。市教育委員会では幼保小連携推進委員会を年2回、幼保小連携推進通信「かけはし」を年間4回発行する。高校との連携は、都立福生高校と多摩工科高校にいじめ防止サミットへの参加を依頼する。



令和7年度 各会計別予算規模 (人口 R7.1.1現在 56,582人)

会計区分		令和7年度予算	前年比(%)	市民1人当たりの額
一般会計		295億9,000万円	△ 16.7	52万2,958円
特別会計	国民健康保険特別会計	66億1,372万円5千円	△ 1.5	11万6,888円
	介護保険特別会計	56億1,242万3千円	2.9	9万9,191円
	後期高齢者医療特別会計	15億6,332万円	△ 0.2	2万7,629円
総合計		433億7,946万8千円	△ 12.0	76万6,666円

下水道事業会計

		収入	支出
収益的収支		15億7,176万7千円	14億766万5千円
資本的収支		7億1,434万3千円	12億6,270万3千円

議案の審議結果 (○賛成 × 反対)

録画映像をご覧ください



	議案番号	議案名	正和会	公明党	日本共産党	生活者ネットワーク	立憲民主党	日本維新の会	議決結果
	市長提出議案								
令和7年第1回定例会	議案第2号	福生市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	可決
	議案第3号	福生市一般職の任期付職員の採用及び給与の特例に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	可決
	議案第4号	福生市職員の勤務時間、休日、休暇等に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	可決
	議案第5号	福生市長等の損害賠償責任の一部免責に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	可決
	議案第6号	福生市非常勤の特別職の職員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	可決
	議案第7号	福生市の一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	可決
	議案第8号	福生市の一般職の職員の給与の臨時特例に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	可決
	議案第9号	福生市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	可決
	議案第10号	福生市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	可決
	議案第11号	福生市指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	可決
	議案第12号	福生市下水道事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	可決
	議案第13号	令和6年度福生市一般会計補正予算(第7号)	○	○	○	○	○	○	可決
	議案第14号	令和6年度福生市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	可決
	議案第15号	令和6年度福生市下水道事業会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	可決
	議案第16号	令和7年度福生市一般会計予算	○	○	×	○	○	○	可決
	議案第17号	令和7年度福生市国民健康保険特別会計予算	○	○	×	○	○	○	可決
	議案第18号	令和7年度福生市介護保険特別会計予算	○	○	×	○	○	○	可決
	議案第19号	令和7年度福生市後期高齢者医療特別会計予算	○	○	×	○	○	○	可決
	議案第20号	令和7年度福生市下水道事業会計予算	○	○	○	○	○	○	可決
	議案第21号	令和7年度福生市一般会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	可決
	委員会提出議案								
	委員会提出議案第1号	福生市議会会議規則の一部を改正する規則	○	○	○	○	○	○	可決
	委員会提出議案第2号	福生市議会委員会条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	可決
	委員会提出議案第3号	福生市議会の個人情報の保護に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	可決

可決等された案件(要旨)

- 福生市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例

法律の一部改正に伴い、引用規定を整理するもの。
- 福生市一般職の任期付職員の採用及び給与の特例に関する条例の一部を改正する条例

東京都の給与改定に準じ、勤勉手当に関する規定を整備するとともに、期末手当の支給割合を改定するもの。
- 福生市職員の勤務時間、休日、休暇等に関する条例の一部を改正する条例

有給休暇及び特別休暇に関する規定と育児又は介護を行う職員の超過勤務の免除に関する規定を改めるほか、介護両立支援制度等に関する規定を整備するもの。
- 福生市長等の損害賠償責任の一部免責に関する条例の一部を改正する条例

地方自治法の一部改正に伴い、引用規定を整理するもの。
- 福生市非常勤の特別職の職員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例

予防接種医、学校医及び学校歯科医の報酬額を改定するもの。
- 福生市の一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例

東京都の給与改定に準じ配偶者に係る扶養手当に関する規定を削除するとともに、扶養手当の支給額を改定するもの。
- 福生市の一般職の職員の給与の臨時特例に関する条例の一部を改正する条例

管理職職員の給料の減額期間を令和7年度まで延長するもの。
- 福生市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例

内閣府令の一部改正に伴い、連携施設に係る規定を整備するもの。
- 福生市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例

厚生労働省令の一部改正に伴い、3歳児以上の配置基準等、必要な規定を整備するもの。
- 福生市指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例

指定地域密着型介護老人福祉施設に併設される事業所の従業者の員数に関する規定を改めるもの。
- 福生市下水道事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例

地方自治法の一部改正に伴い、引用規定を整理するもの。
- 令和6年度福生市一般会計補正予算(第7号)

歳入歳出予算の総額に1億5514万3千円を追加、385億6447万3千円とするもの。
- 令和6年度福生市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)

歳入歳出予算の総額に435万3千円を減額、15億6258万7千円とするもの。
- 令和6年度福生市下水道事業会計補正予算(第1号)

金利の上昇により基金利息が増額したため、収益的収入の営業外収益と資本的支出の基金積立金に16万7千円を追加するもの。
- 令和7年度福生市一般会計予算

歳入歳出予算の総額を295億9千万円とするもの。前年度比59億5千万円、16・7%の大幅な減だが、昨年度に3基金を統合した影響を除くと、実質的には前年度比8億5千万円の増となる。
- 令和7年度福生市国民健康保険特別会計予算

歳入歳出予算の総額を66億1372万5千円とするもの。
- 令和7年度福生市介護保険特別会計予算

歳入歳出予算の総額を56億1242万3千円とするもの。
- 令和7年度福生市後期高齢者医療特別会計予算

歳入歳出予算の総額を15億6332万円とするもの。
- 令和7年度福生市下水道事業会計予算

収益的収支の収入を15億7176万7千円、支出を14億766万5千円、資本的収支の収入を7億1434万3千円、支出を12億6270万3千円とするもの。
- 令和7年度福生市一般会計補正予算(第1号)

家庭での防犯対策支援の補助金など、歳入歳出予算の総額に1500万4千円を追加、296億500万4千円とするもの。
- 福生市議会会議規則の一部を改正する規則

地方自治法の一部改正に伴い、規定を整理するもの。
- 福生市議会委員会条例の一部を改正する条例

地方自治法の一部改正に伴い、規定を整理するもの。
- 福生市議会の個人情報の保護に関する条例の一部を改正する条例

法律の一部改正に伴い、引用規定を整理するもの。

陳情

結論の付いた陳情は次のとおりです。

◆不採択

●2023年3月3日全員協議会会議録についての陳情書（71号）
（不採択理由）

全国市議会議長会基地協議会の会長として、相談役に加盟促進をしっかりと行うよう足を運んで説明し、理解していただく必要がある。経費は、条例に基づき、経済的、合理的な経

路であること、経路の検討についても問題ないことから、意に沿いない。

◆不採択

●原油・物価及びエネルギー価格等高騰に伴う中小企業支援策の実施を求める陳情書（72号）
（不採択理由）

ゼロゼロ融資を利用した企業の倒産はピークアウトしたとみられるなど、陳情内容と実態に相違がある。また、中小企業への支援は国や東京都において進めるべきであることから、意に沿いない。

◆不採択

●発がん性のあるPFAS汚染の実態を明らかにすることを求めることに関する陳情書（73号）
（不採択理由）

横田基地対策特別委員会や一般質問において、横田基地への立ち入りにおける様子や説明内容について明らかにされており、市内の井戸・湧水について令和5年度から調査を実施し市民に対して公表している。また、国に対する要請行動等でも東京都と5市1町で対応し、陳情が求める事項については既に取り組んでいることから、意に沿いない。

討論

●令和7年度福生市一般会計予算

■反対

公共施設の将来像について、少人数学級及び小学校の統廃合について、人口減少という悲観的な将来予想ではなく、子どもが減らない未来に変えていきたいこと。

公園の使用料の見直しについて、憲法に関わる大きな問題だと捉えていること。

誰でも乗れる市内循環バス、いわゆるコミュニティバスの導入について、「福祉バスに多くの人が乗れるように」という利便性の向上を要求していること。

■賛成

都市計画道路3・4・7号富士見通り線整備事業は、令和10年度の供用開始に向け、用地取得が令和6年度末で約99%まで達成する見込みであること、福生駅西口地区市街地再開発事業については、公益施設の見直しの検討が進められていることや、返礼品付きふるさと納税制度がスタートし、市の魅力の向上・地域内経済の活性化、税外収入の獲得が期待されることなどが確認できた。

また、分教室型不登校特例校の福生第一中学校7組が、令和8年4月に新たに学びの多様化学校として分校化され、さらに、福生市行政改革大綱（第7次）後期推進計画では、新たに「DXによる業務の効率化」「税外収入の安定的な確保」「人材の適正な量と質の確保」などが追加され、実施されることなどから、本予算に賛成する。

■賛成

令和8年3月末で市民契約保養施設の事業の廃止など、財務諸表を活用した行政評価やPDCAサイクルによる積極的な事業見直しが行われ、経常的な委託料が増加する中、経常経費の削減に取り組む姿勢が見られた。

また、ICTやAI・RPAを活用した積極的な自治体業務効率化やスポーツ施設の券売機にキャッシュレス決済の導入など、市民の利便性を向上する姿勢が見られ、GIGAスクール構想における端末機更新においても、子供たち一人一人の創造性を育むICT環境の整備予算が盛り込まれた。

以上から、人件費の上昇や物価高騰による影響を受ける中、積極的なDXの推進や事業見直しが行われ、各分野において、多くの意気込み、熱意を感じると評価でき、本予算に賛成する。

■賛成

令和7年度予算において、地域コミュニティの根幹である町会・自治会への支援、自主防災組織に交付している補助金の増額、外国人向けの防災啓発動画の作成など、地域コミュニティへの支援と市民の多様性を考慮した施策が評価できること。

生きづらさを抱えた子どもたちが大勢いる現状があり、児童・生徒一人一人に寄り添った支援と居場所の充実が重要であると考えており、東京都で初の設置となる学びの多様化学校設置のための準備、校内別室における支援員の配置の継続など、子ども一人一人に寄り添う取り組みとして高く評価していること、地域力・防災力の向上に資する取り組みと、子どもと居場所となる多くの取り組みを確認することができたことなどから、本予算に賛成する。

■賛成

物価高騰対策のキャッシュレス決済ポイント還元事業は、市民がポイントを得ることができること他に、電子マネーの普及促進に効果がある事業であること

委員会の審査から

各常任委員会から報告された
主な審査概要をまとめました

建設環境委員会

3月17日に委員会が開かれ、4件の議案を審査し、原案のとおり可決されました。また、陳情

1件は、不採択となりました。

●福生市下水道事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例
質疑なし。

●令和6年度福生市下水道事業会計補正予算（第1号）

問 予算編成時とその後
の基金の利息等を伺う。

答 金利を年0・002%と見込んだが、年0・015%に上昇したため、定期預金を組み直した。

●令和7年度福生市下水道事業会計予算

問 マンホールカード配布での課題解消を伺う。

答 安定的な配布と供給体制を確立し継続する。

デザイン由来

マンホールカード

ウォーターPPP導

事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例

問 改正の背景について伺う。

答 特定地域型保育事業では、連携施設の設定を求めることとされているが、連携施設の設定が進まない状況から、こども家庭庁が対応について検討し、内閣府令が改正されたことによるもの。

●福生市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例

問 改正による影響について伺う。

答 対象となる1施設は、既に連携協力者を確保できており改正による影響はない。栄養士法の改正に伴う規定の整備についても当該園では食事の提供の特例を適用していないため影響はない。配置基準についても市内に3歳以上を保育する対象施設はないため影響はない。

●福生市指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例

問 影響する事業所について伺う。

答 対象は、指定地域密着型介護老人福祉施設に併設される短期入所生活介護等の事業所であるが、福生市内にはないことから、影響はない。

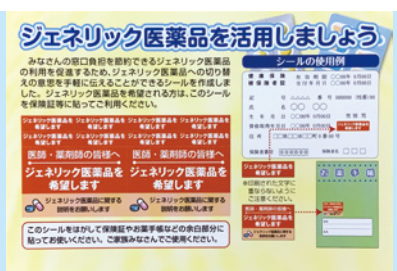
●令和6年度福生市一般

会計補正予算（第7号）
（市民厚生委員会所管分）

問 自立支援医療事務について、医療費の増額の理由と背景について伺う。

答 新たに更生医療の受給を開始した方と、既に更生医療を受給しており、市内へ転入してきた方が複数いることの対象者の増加によるもの。

●令和6年度福生市一般



▲ジェネリック医薬品に関するチラシ

●令和7年度福生市国民健康保険特別会計予算

問 一般管理事務について、通信運搬費の増額理由を伺う。

答 全ての被保険者に対

し、マイナンバーカードの被保険証利用登録状況により、資格確認書または資格情報のお知らせの交付を行う必要があるため、必要な郵券代を計上している。

●令和7年度福生市介護保険特別会計予算

【問】 介護給付適正化委託料について、減額理由及び減額による影響を伺う。

【答】 介護サービス事業所への実地検査の回数を減らしたことによる減額。適正な実施頻度は保たれることから影響はない。

●令和7年度福生市後期高齢者医療特別会計予算

【問】 受診率向上のため、歯科検診の日程の拡大についての考えを伺う。

【答】 歯科医師会の状況等を踏まえ調整していきたいと考えているが、令和7年度は9月に実施を予定している。

総務文教委員会

3月21日に委員会が開催され、9件の議案を審査し、原案のとおり可決されました。

●福生市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報提供に関する条例の一部を改正する条例

【問】 番号利用法に本人確認を可能とするカード代替電磁的記録が追加され

たが、本条例での対応は。

【答】 カード代替電磁的記録は、スマートフォン等でマイナンバー機能を利用できる仕組み。本条例は、独自利用事務について定めているもので、当該内容を定義として定める必要はない。

●福生市一般職の任期付職員の採用及び給与の特例に関する条例の一部を改正する条例

【問】 改正によって期末勤勉手当がどのように変わるか伺う。

【答】 現行6月期、12月期ともに1・9か月のところ0・8か月とし、勤勉手当を6月期、12月期ともに1・125か月とする。年間の支給月数は、期末手当のみで3・8か月であるものを、期末勤勉手当として3・85か月とする。

●福生市職員の勤務時間、休日、休暇等に関する条例の一部を改正する条例

【問】 子育て部分休暇は、小学校3年生までの子どもを養育する職員が1日2時間以内で取得可能とのことだが、年間の取得時間の上限について伺う。

【答】 取得時間の上限は、特にない。

●福生市長等の損害賠償責任の一部免責に関する条例の一部を改正する条例

【問】 地方自治法の改正により条ずれが生じたとのことだが、詳細を伺う。

【答】 特定歳入等の収納に関する規定が追加されたことにより、普通地方公共団体の長等の損害賠償責任の一部免責の規定や、職員の損害賠償責任の規定に条ずれが生じたもの。

【問】 今回の補正予算で歳出予算に積み立てる寄附金について伺う。

●福生市非常勤の特別職の職員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例

【問】 報酬改定の背景と、報酬額算定の根拠について伺う。

【答】 西多摩地域の学校医等の報酬については、首長が出席する西多摩地域医療懇話会において決定された。今回の報酬額の改定については、令和6年の人事院勧告の改定率2・76%を適用し算定している。

●福生市の一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例

【問】 扶養手当の改正について、詳細を伺う。

【答】 配偶者に係る扶養手当を廃止し、子に係る扶養手当額を引き上げるもの。扶養手当の廃止及び引き上げは、受給者への影響を考慮し、2年かけて実施する。

●福生市の一般職の職員の給与の臨時特例に関する条例の一部を改正する条例

【問】 臨時特例措置による本市のラスパイレス指数への効果について伺う。

【答】 令和6年度は5年度と比較して0・2ポイント増加しているが、この措置により1から1・2ポイント程度の抑制効果があると見込んでいる。

ト増加しているが、この措置により1から1・2ポイント程度の抑制効果があると見込んでいる。

令和6年度福生市一般会計補正予算(第7号)

(総務文教委員会所管分)

【問】 今回の補正予算で歳出予算に積み立てる寄附金について伺う。

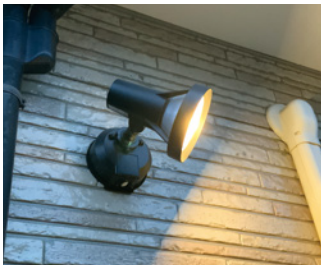
【答】 令和6年7月から12月までの市民等からの寄附金である。

令和7年度福生市一般会計補正予算(第1号)

(総務文教委員会所管分)

【問】 防犯機器等購入緊急補助金の対象となる機器について伺う。

【答】 防犯カメラ、カメラ付きインターホン、窓の面格子、人感センサー、防犯フィルムなど。



▲家庭用防犯機器の一例

議会運営委員会

定例会の会期や本会議の議事日程、一般質問、議案、市民等から提出された陳情の取り扱い等の協議及び議会だよりの編集を行う議会運営委員会が、閉会中を含め7回開催されました。なお、陳情1件は、不採択となりました。

【問】 臨時特例措置による本市のラスパイレス指数への効果について伺う。

特別委員会活動から

横田基地対策特別委員会

3月24日に委員会が開催され、5件の議題について審査しました。また、陳情1件は、不採択となりました。

1 東京都と基地周辺5市1町による総合要請について

横田基地に関する東京都と周辺市町連絡協議会による国の機関及び米軍に対する要請が、令和7年1月22日及び23日に行われた。22日は、防衛省と北関東防衛局へ訪問し、内閣総理大臣、総務大臣等の関係大臣へは要望書を郵送した。23日は、横田基地を訪問し、在日米軍兼第5空軍司令官へは要望書を郵送した。要望では、P F O S等を含む泡消火薬剤の漏出に係る必要な対応を行うこと等を要請した。

2 東京都が実施した航空騒音調査結果について

東京都環境局が例年行っている横田飛行場、立川飛行場等の航空騒音調査で、令和5年度の結果は、福生第二中学校は、46dB(デシベル)、第五小学校は48dBで基準に適合した。

3 令和7年度防衛補助事業等の実施予定について

令和6年7月の市議会、

本特別委員会が実施した防衛省に対する要請行動で要望していた事業をはじめ、市が令和7年度に実施したい全ての事業が採択の見込みである。

福生第二中学校の校舎の第2期工事は、令和7年度、第二小学校、第一中学校の工事は、令和8年度の夏休みを中心に実施する。第四小学校の空調設備等改良事業は、令和7・8年度に実施、武蔵野台テニスコート改良事業は、令和7年度に実施する。

4 令和7年度基地関係国予算について

国の令和7年度基地関係予算は、基地周辺対策経費1770億円、前年度比138億円、8・4%の増。基地交付金と調整交付金は、合計額385億4千万円、前年度から10億円の増。

5 横田基地に関する情報等について

2月28日の「横田基地における戦闘機の飛来」について、2月28日から3月2日までの間、市民からの戦闘機に関する騒音の苦情は2件あった。横田基地日米友好祭2025は、5月17、18日に開催される予定。



▲委員会の様子

次回定例会(令和7年第2回)のお知らせ(予定)

日	月	火	水	木	金	土
6/8	9	10 一般質問 本会議 午前10時開会	11 一般質問	12 一般質問	13 一般質問	14
15	16	17 常任委員会 午前10時開会	18	19	20	21
22	23	24 議会運営委員会 午前10時開会	25	26	27 本会議 午前10時開会	28

会期：令和7年6月10日～6月27日
※会期中に特別委員会が開催される予定です。 ※日程は変更になることがあります。
議場には、補聴器をお使いの方、高齢等で聴き取りにくい方のために音声を送るヒアリンググループを導入しています。

編集後記

令和7年第1回定例会において、一般会計予算審査特別委員会が設置され、295億9千万円の一般会計予算が可決されました。昨年の287億4千万円(基金の統合分68億円を除く)を実質的には上回る予算額となりました。議会は、この予算の執行についてしっかりと監視し、執行状況をチェックしてまいります。これまで全国的に実施されている「ふるさと納税」により、令和5年度では、福生市から住民税が約1億3千万円流出しています。そこで、福生市としても返礼品を通じて福生市の魅力を紹介し、税外収入を確保するため、「返礼品付きふるさと納税」を開始します。教育では、小・中学校の児童・生徒のタブレット端末が更新され、これまで同様のiPadLTEモデルが貸与予定です。議会としても、いつでもどこでも学習できる環境づくりを後押ししてまいります。さて、3月には市内小・中学校の卒業式が行われました。特に、雪が舞う中での中学校の卒業式は、未来へ飛び立つ生徒にとって記憶に残る卒業式になったことと思います。編集後記を終わります。